

会津美里町下水道事業経営戦略の改定について

下水道事業は、衛生的で快適な生活環境を実現するなど、町民生活や社会経済活動を支える重要な役割を担っています。

本町の公共下水道事業は、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図るため、市街地を中心に整備を進めております。また、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、個別合併処理浄化槽事業は整備完了し、適正な維持管理に努めております。

これからも町民の快適な生活を支えていくため、将来にわたって安定的・持続的なサービスを継続していくことが求められています。

しかしながら、人口減少に伴う料金収入の減少等により近年の下水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増す事が予測されます。こうした中で、下水道事業は企業債残高が高い水準であることに加え、中長期的には設備の老朽化による更新投資の需要が高まることなど様々な課題を抱えています。

こうした状況に対応し、事業を安定的に継続していくために、国（総務省）はすべての下水道事業に対し、「経営戦略」を策定して経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むことを要請したことから、当町においても、平成29年3月に「会津美里町公共下水道事業経営戦略」、「会津美里町特定環境保全公共下水道事業経営戦略」、「会津美里町農業集落排水事業経営戦略」、「会津美里町特定地域生活排水処理事業経営戦略」を策定しました。

計画策定後から5年が経過し、この間、下水道事業では、人口減少による料金収入の減少、施設・設備の老朽化に伴う更新投資や、多額の企業債償還が見込まれるなど、将来的な事業経営の課題に対応するため、令和2年4月1日に地方公営企業法の一部（財務規定等）を適用しました。

今後も下水道事業を安定的に継続していくためには、中長期的な視点に立って、現状把握を十分に行いながら、人口減少などの社会情勢の変化や頻発する自然災害に対応していくとともに、将来を見通して経営基盤の強化を図っていくことが必要です。

そこで、今年度、さらなる効率的な事業経営を目指すため中長期的な経営の基本計画を見直し、経営戦略を改定するものです。